



**今日のトピック 鉄鉱石・石炭の価格と豪ドルの動向（2017年11月）**  
**緩やかに下値を切り上げる展開へ**

**ポイント1 価格は持ち直し  
緩やかに下値を切り上げる展開**

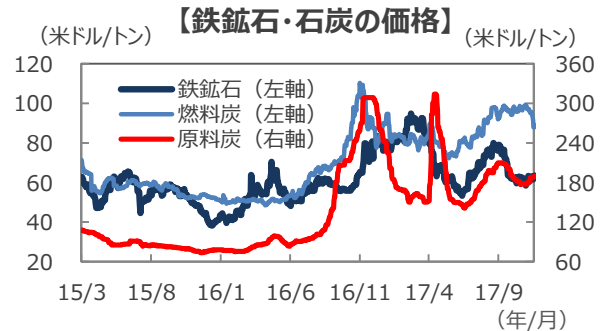
- 鉄鋼の主原料となる鉄鉱石の価格は、17年8月上旬に1トン当たり80ドル近傍まで上昇した後に下落しましたが、足元では同60ドル前後での推移となっています。
- 石炭の価格は、原料炭、燃料炭とも今年5月から6月にかけて底入れし、直近では原料炭が同180ドル前後、燃料炭は同90ドル近傍の水準にあります。

**ポイント2 短期的には価格調整の公算  
中期的には中国が需要増を牽引へ**

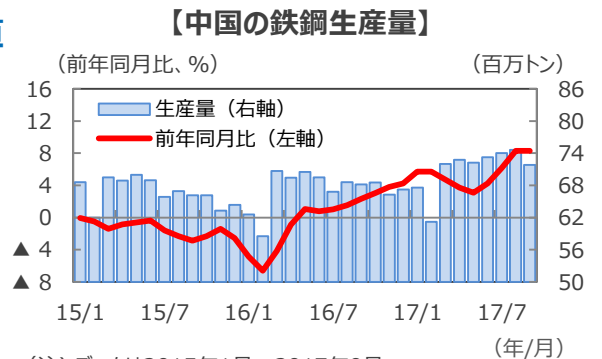
- 鉄鉱石、石炭の一大消費地である中国では、環境保護を目的として、政府が鉄鋼等の一部の工場に冬季の操業停止を命じています。このため、短期的には、鉄鉱石、原料炭の価格に低下圧力がかかる恐れがあります。
- もっとも、中国では高い経済成長を維持していることに加え、社会資本整備のための公共投資を拡大していること等から、鋼材の消費量は増加の傾向を強めています。中期的には、鉄鉱石や原料炭の需要も増勢を辿ると予想されます。

**今後の展開 豪ドルは堅調に推移しよう**

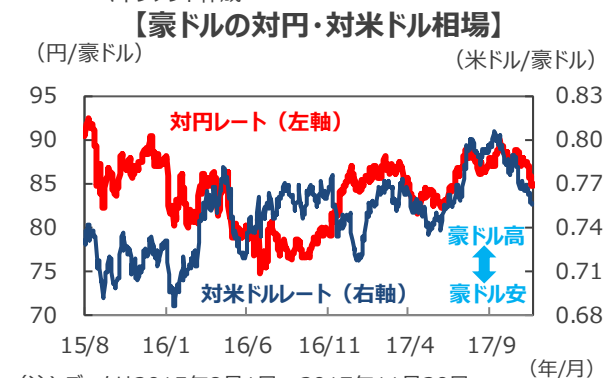
- 足元の豪ドルの対円相場は、80円台半ばで弱含みで推移していますが、やや長い目で見れば、①鉄鉱石や石炭等の資源価格の持ち直しが見込まれる、②豪州の貿易収支が改善しつつある、③金融政策が、日本の緩和姿勢継続に対し、豪州は中立姿勢維持の見通しである等から、堅調に推移すると予想されます。



(注) データは2015年3月1日～2017年11月20日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データは2015年1月～2017年9月。  
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データは2015年8月1日～2017年11月20日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック!** 2017年11月 7日 豪州の金融政策は引き続き据え置き (2017年11月)  
2017年10月 24日 原油価格の動向 (2017年10月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。